



エマルジョン



一液



非危険物



無鉛



速乾性

ホルムアルデヒド
放散等級

ATOMIX

一液水性エマルジョンプライマー

フロアトップアクア[®] 水性速乾プライマー

(一社) 日本塗料工業会登録

登録番号 A 03207

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

速乾で幅広い既存塗膜に密着。塗り替えに最適です！

今までは…

コンクリートの場合

ベストシーラーK(塗料)
+
Kパウダー(粉末)

既存塗膜の場合

エコワイドプライマー
(二液型塗料)

これからは！

フロアトップアクア
水性速乾プライマー
(一液型塗料)

特長

- (1) 速乾性のため、施工時間を短縮できます
コンクリート面なら気温23℃で1時間以上、気温5℃の低温時でも3時間以上で上塗り可能です。
- (2) 塗り替えに最適
幅広い種類の樹脂系防塵塗料の既存塗膜（アクリル、酢ビアクリル、アルキド、ポリウレタン、エポキシ樹脂）に密着するため、塗り替えに最適です。
- (3) 一液タイプ
混合の手間がない一液タイプなので作業性に優れています。
- (4) 安全性に優れています
非危険物、有機則非該当、トルエン・キシレン等厚生労働省指定の13物質を含まないため、シックハウス・シックスクール対策に最適です。

用途

- コンクリート・モルタル面（OAフロア用防塵塗料としてもご使用いただけます）
- 塗膜色は無色透明なのでクリヤー仕上げのプライマーに
- 既存塗膜の塗り替え ※裏面の下地処理工程を充分に行ってください。

内容量・荷姿・塗り面積

内容量	荷姿	塗り面積
15 kg	石油缶	コンクリート面：75～100 m ²
		既存塗膜塗り替え：115～136 m ²
		OAフロア：50 m ²
4 kg	ポリ容器	コンクリート面：20～27 m ²
		既存塗膜塗り替え：30～36 m ²
		OAフロア：13 m ²

塗材色：乳白色
塗膜色：無色透明

上塗り適正材料

フロアトップアクア W#5000、フロアトップ#1400、
フロアトップアクア フォルティス

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡 3-9-6 TEL. 03-3969-3125(直通) FAX. 03-3968-7300

フロアトップアフロ 水性速乾プライマー

施工仕様例

■コンクリート・モルタル面

工 程	製 品 名	希 釈 剤	希 釈 量 (wt%)	塗 布 量 (kg/m ²)	塗 装 間 隔 (時間/23℃)
1	下地処理	コンクリート打設後4週間以上経過しており、含水率が適切な範囲であることを確認してください。下地に付着している土、泥、汚れ等を取り除き、またレイタンス、エフロレッセンスをポリッシャーサンダー等で完全に取り除いてください。特に油污れは塗料の付着不良を起こすため、完全に取り除いてください。 ※騎乗式鏝で仕上げたコンクリート、または緻密なコンクリートの場合は、強化コンクリート用プライマーを使用してください。			
2	プライマー	水性速乾プライマー	——	0.15~0.20	1以上 ^{注)}
3	上 塗 り	上塗り適正材料を参照	各製品の仕様によります		

注) 低温時5℃の場合は3時間以上

■既存塗膜の塗り替え

工 程	製 品 名	希 釈 剤	希 釈 量 (wt%)	塗 布 量 (kg/m ²)	塗 装 間 隔 (時間/23℃)
1	下地処理	既存塗膜の浮き、剥がれをチェックし、剥がれ部分の周囲や浮き部分を除去してください。既存塗膜の表面をポリッシャーサンダー等にてサンディングし、清掃してください。また、油污れ等は完全に除去してください。			
2	プライマー	水性速乾プライマー	——	0.11~0.13	1以上 ^{注)}
3	上 塗 り	上塗り適正材料を参照	各製品の仕様によります		

注) 低温時5℃の場合は3時間以上

■OAフロア向け

工 程	製 品 名	希 釈 剤	希 釈 量 (wt%)	塗 布 量 (kg/m ²)	塗 装 間 隔 (時間/23℃)
1	下地処理	※コンクリート面の仕様と同様。			
2	プライマー	水性速乾プライマー	——	0.15	1以上 ^{注)}
3	上 塗 り	水性速乾プライマー	——	0.15	——

注) 低温時5℃の場合は3時間以上

注意事項

1. 塗装（施工）前の注意

- 5℃未満の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、充分に注意して行ってください。

2. 塗装（施工）中の注意

- 下地が濡れている場合には、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- プライマーの乾燥後、時間を空け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下します。必ず同一日に上塗りしてください。
- 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- 小分けする場合は、必ず小分けする前に充分に攪拌し、均一にしてから行ってください。
- 周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用してください。
- タンク内部の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気出来る装置を取り付けてください。
- 常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。

3. 塗装（施工）後の注意

- 湿度の高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。
- 乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 塗装用具等を洗浄した水等を、河川や湖沼へ流したりしないようご注意ください。
- 直射日光が当たり高温となる場所や、凍結する恐れのある場所を避けて保管してください。

4. 塗装面別の注意

- 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート（1㎡以上）を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。（ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする）
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、事前に当社までご相談ください。
- 特殊強化コンクリート面は、表面が硬くなめらかなため、塗料の付着がよくありません。また表面が油で汚れている場合やワックス処理されている場合は、さらに付着性が悪くなりますので、事前に当社までご相談ください。
- ワックスやシリコン等が下地に残っている場合は、乾燥の遅れや上塗りに支障の出る事がありますので、事前に当社までご相談ください。
- 風化したコンクリート、吸込みの激しいコンクリート、打設時の雨打たれや凍結により強度のないコンクリートの場合にはご相談ください。

5. もしもの場合

- 皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 眼に入った場合は、多量の水で洗ったあと、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。

6. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS（安全データシート）・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ず使用前に当社までお問い合わせください。